



学校だよりふれあい

令和5年
8月24日
発行

1学期学校評価アンケートの結果より

令和5年度 生徒によるアンケート 集計結果

		全体
		平均
1	授業が楽しく「できた、わかった」などの実感がある。	3.14
2	授業に集中して取り組んでいる。	3.14
3	学校の授業時間以外に、学習に取り組むことが習慣となっている。(学習塾・家庭教師含む)	2.72
4	学校行事などで、仲間と協力し、楽しく活動することができる。	3.54
5	時間を守るなど、規律ある学校生活を送ることができる。	3.39
6	交通安全など、ルールを守って、安全に気をつけて生活することができる。	3.59
7	部活動で感動や達成感を味わうことができる。(部活動に加入していない人は未回答でも可)	3.40
8	将来の夢を考えたり、目標をもって努力することができる。	2.98
9	進んで挨拶を交わっている。	3.29
10	自分を向上させ、よりよく生活したいと考えてる。	3.24
11	他者への思いやりをもって生活をしている。	3.40
12	いじめは絶対に許されないと考えてる。	3.83
13	先生方は話しやすく、学習や生活など、相談しやすい。	3.01
14	学級の居心地がよい。	3.25
15	学校生活は楽しい。	3.27
16	ペア学習やグループ学習など、仲間との学びあいを通して、より深く理解することができた。	3.25
17	iPadなどのICT機器を積極的に活用できた。	3.38
18	地域とのふれあい(地域の人材、施設)を通して、ふるさと東神楽の魅力や"よき"を知ることができた。	2.93

教職員・保護者アンケートとの関連について

重点教育目標1【知】との関わり			
・基礎的・基本的な知識技能を身に付けている。(学習意欲・学習への充実感)			
教職員①	3.38	生徒①	3.14
保護者①	2.88		
・教職員、生徒ともに肯定的な実感を伴う評価となっているが、学年によって保護者の評価に差が見られる。			
・学習規律の徹底を図る。			
教職員②	3.38	生徒②	3.14
保護者②	3.21		
教職員⑤	3.18	生徒⑤	3.38
保護者⑤	3.32		
・生徒たちが自分の考えをもち、議論する対話的な学びがある授業を実現している。			
教職員③	3.35	生徒⑥	3.25
教職員⑦	3.19		
・ICT機器を授業等で積極的に活用している。			
教職員⑨	3.24	生徒⑦	3.38
保護者③	3.27		
重点教育目標1【徳】との関わり			
・いじめを生み出さない学校風土の醸成に努めている。			
教職員⑪	3.41	生徒⑧	3.40
保護者⑪	3.46		
教職員⑫	3.53	生徒⑫	3.83
・学校の理念や取組の方策が周知徹底され、生徒・保護者間にも確実に浸透している。今後も、いじめは起こらうという危機意識をもち、組織による認知、迅速な対応を図る必要がある。			
・職場体験や進路指導などを通して、自分の将来に夢をもち、自己の生き方について考えることができている。(⑫については、「ふるさとや、地域とのかかわり」)			
教職員⑧	2.88	生徒⑨	2.98
保護者⑧	2.84		
教職員⑫	2.69	生徒⑩	2.93
保護者⑫	2.71		
・キャリアパスポートの確実な活用や、目標に対し成就感や達成感を感じることのできる振り返りの充実を行う必要があるとともに、家庭・地域との連携を深め、東神楽町のよきを実感できる取組の充実を図る必要がある。			
特別活動(学級活動・行事・生徒会活動)において、仲間と楽しく活動している。			
教職員④	3.56	生徒④	3.54
保護者④	3.43		
・挨拶を積極的にに行っている			
教職員⑨	3.35	生徒⑨	3.29
保護者⑨	3.16		
・肯定的な評価となっているが、今後も、社会性の伸長とともに、他者意識を高め、向社会的な意識の醸成に努める必要がある。			
重点教育目標3【体】との関わり			
・自ら体力を高め、健康・安全に気を付けることができる。			
教職員⑦	3.41	生徒⑦	3.40
保護者⑦	3.61		
・日常・非日常の危機管理の徹底に努めている。			
教職員⑥	3.24	生徒⑥	3.59
保護者⑥	3.47		

生徒、保護者、教職員を対象に1学期末学校評価アンケートを実施しました。各項目4点満点で評価するもので、上記左の表が生徒用の集計結果、右の表は教職員及び保護者用の集計結果との関連を図ったものです。右図の黄色箇所を示したように、概ね高い評価となっていますが、桃色で示した3「家庭学習の習慣」の他、8「キャリア形成への意識」、18「ふるさとや地域との関わり」について課題が明らかとなっております。引き続き、日常の授業と家庭学習とが連動するような取組の推進や、総合的な学習の時間における、キャリア教育をはじめ、ふるさと東神楽のよさに目を向ける教育の充実に努めてまいります。

保護者アンケート(記述式)への回答

※ 申し訳ございませんが、回答を一部のみとさせていただきます。ご理解願います。

○タブレットの活用の手立てを先生・生徒みんな考えてほしい。iPadについて制限が強く、調べもの等が不便であることから、ご考慮いただきたい。⇒各教科の学びを支え、資質・能力を身に付けさせるためのICT活用について引き続き研究と修養に努めてまいります。iPadの制限については、情報教育との関連性を図りながら、よりよく使えて便利な道具となるよう町教育委員会とも協議を図っていきたいと思います。貴重なご意見ありがとうございます。

○各テストの順位を教えてください。⇒集団の学習到達度の差によって順位の意味合いも変わってくることや、テストの結果を個人内評価として押さえていることなどから、学年統一して教えておりません。申し訳ございませんが、お示ししたグラフよりおおよその順位が把握ができますので確認いただければと思います。

○今後、保護者と先生との面談を再開してほしい。⇒新型コロナの5類移行を受け、教職員、保護者が直接顔を合わせて教育相談を行う機会も多くなることが考えられます。よろしく願いいたします。

